

1 題材名 かたづけよう 身の回りの物

2 題材の目標

身の回りの整理・整頓に関心を持ち、気持ちよく過ごすための整理・整頓の仕方を理解し、工夫することができる。

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領では「C快適な衣服と住まい」の(2)「快適な住まい方」のAと「D身近な消費生活と環境」の(2)「環境に配慮した生活の工夫」のAとの関連を図り、道具箱の整理・整頓の工夫で学んだことを生かして家庭での実践へつなげることをねらいとしている。現代社会では、便利な電化製品が普及しており、掃除機に関してもスイッチ一つで室内を動き回り部屋を掃除するなど、児童は身の回りが片づくまでの様子を考えたり工夫したりするところを見るのが少ない。また、住まいについての知識や技能を身に付けることによって、日常の暮らしが安心して快適なものとなることに気付けるようにすることが必要である。

(2) 児童の実態

児童の実態について調査をすると、以下のような結果である。

児童の実態調査（平成\*年\*月\*日実施 第5学年\*人）

設 問	回 答
身の回りの片付けはだれがしていますか。	家族 *人 自分 *人
片付けを手伝うことはありますか。	はい *人 いいえ *人
学校生活の中で、自分が片付ける場所はどこですか。	道具箱 *人 くつ箱 *人
家で、自分が片付ける場所はどこですか。	机のまわり（自分の部屋）*人 リビング *人 引き出しの中 *人

整理・整頓などの片付けは、家族にしてもらっていることが多く、片付けを手伝うことがあっても一人で片付ける経験が少ないので、どのような物をどのようにまとめるとよいか分からない実態がある。また、自分で片付けている学校の道具箱に関しても、物を雑然と入れている児童が多い。家庭での実践も少ないことから、家庭環境にも十分配慮し、体験的な活動を通して整理・整頓の知識や技能を身に付けていく必要があると考える。

(3) 指導観

大きな地震が起きた時、整理・整頓されていない家ではどのようなことが起こるかを題材の導入として取り入れることで、住まいの整理・整頓に関心をもつことができるようにする。また、学校生活で活用している道具箱を整理・整頓する、実践的・体験的な活動を充実させることで、整理・整頓に関する課題をもち、実生活で活用することができるようにする。そのように、実践的・体験的な学習や話し合い活動を位置付けた学習過程を工夫することを通し、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、課題を解決できる能力を育てていきたいと考え、本題材を設定した。

4 指導と評価の計画（4時間扱い）

時	学習内容	評価の観点				評価規準	評価方法
		関	創	技	知		
1 本 時	○整理・整頓のポイントを見付ける。 ○大きな地震が起きてしまったらどうなるか討論する。	○				・身の回りを快適に整えるために、整理・整頓や清掃に関心をもっている。 ・自分の生活と環境とのかかわりに関心を持ち、環境に配慮した生活をしようとしている。	行動観察 発言分析 ワークシート
2	○整理・整頓のポイントを基に道具箱を整理・整頓する。			○	○	・身の回りの物の整理・整頓の仕方について理解し、整理・整頓ができる。	行動観察
3	○整理・整頓の仕方の工夫を生かして、わが家の整理・整頓をする計画を立てる。		○			・身の回りを点検し課題を見付け、整理・整頓や清掃の仕方について考えたり、工夫したりしている。 ・環境に配慮した生活について課題	ワークシート

						を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。	
4	○わが家の整理・整頓の報告会をする。				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物の整理・整頓の仕方について理解している。</li> <li>環境に配慮した生活の工夫について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシート

## 5 本時の指導

### (1) 目標

身の回りの整理・整頓や自分の生活と環境とのかかわりに関心をもち、身の回りを快適に整え、環境に配慮した生活をしようとする。(関心・意欲・態度)

### (2) 準備・資料

写真, 意見カード, ペン, ワークシート

### (3) 展開

学習活動	指導上の留意点・評価
1 2枚の写真を見比べてみる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>物が散乱している部屋の2枚の写真を見比べ、ちらかった原因や気付いたことを発表する。</li> <li>写真の掲示により本時への意欲付けをする。</li> </ul>
2 本時の学習内容を確認する。 整理・整頓のポイントを見付けよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を確認すると共に、学習の流れを確認する。</li> </ul>
3 整理・整頓の必要性について話し合う。 (1) 散らかっていると困ることはどんなことか話し合う。 <整理・整頓> ・すぐに見つからない。 <清掃> ・せきがでる。 ・虫がつく。 <安全> ・けがをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真を基に、自分の経験とつなげて考えられるようにする。</li> <li>ワークシートに記入した自分の意見を基に、グループで話し合い、意見をカードにまとめられるようにする。</li> <li>グループで記入した意見を、黒板に視点ごとに分けて掲示し、意見をまとめる。</li> <li>困った経験や危なかった経験を共有し、整理・整頓の必要性に気付かせていく。</li> <li>物があふれる家に住んでいて大きな地震が起きてしまったらどうなるのか、自分の立場を決めて考えられるようにする。</li> </ul>
4 整理・整頓のポイントについて考える。 ・要る物と要らない物に分ける。 ・なかまを集める。 ・形や大きさをそろえる。 ・重ねたり並べたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活を思いだし、家族がどのように整理・整頓しているか考えられるようにする。</li> <li>出てきた意見を全体で確認し、整理・整頓の必要性について気付いたことや考えたことを発表することで、全体での共通理解を図る。</li> <li>㊦身の回りの整理・整頓や自分の生活と環境とのかかわりに関心をもち、身の回りを快適に整え、環境に配慮した生活をしようとしている。(関心・意欲・態度, 行動観察・発言分析・ワークシート)</li> </ul>
5 本時のまとめをし、次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>整頓のポイントを基に自分の道具箱で実践することを伝え、意欲付けをする。</li> </ul>